

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	141個性豊かなコミュニティづくり		
施策のねらい (めざす姿)	地域コミュニティ活動や、テーマに沿った市民活動が盛んに行われ、市民一人ひとりが地域社会の中で役割を認識しています。 地域のきずながあり、特色のあるコミュニティが形成され、安心して暮らしています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	市民生活部次長
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	マネージャー氏名	青木 真也

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	次期総合基本計画における計画期間に合わせて、新たな「市民との協働戦略プラン」の策定を行うほか、自治会集会所を保有していない自治会に対して助成を行うとともに、コミュニティセンターの計画的な修繕を行う。	③改革・改善内容	「協働のためのアクションプラン22」に位置付けた施策を着実に実施していくほか、地域コミュニティ活動の拠点である自治会集会所の整備に対して助成を行うとともに、コミュニティセンターの計画的な修繕を行う。
②①に基づく取り組み結果	「協働のためのアクションプラン22」を策定したほか、自治会集会所建設等に対する補助金交付、コミュニティセンターの大規模改修等を行った。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民	意図(対象をどうするのか)	自治会活動や市民活動に積極的に参加するとともに、地域住民同士で交流を深めることで地域の活性化を図る。
②施策の概要	自治会などの地域コミュニティ活動や、NPO法人などの市民活動を推進するための環境整備を行うことにより、個性豊かなコミュニティ社会を目指す。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化の進展や人口減少社会の到来により、地域コミュニティ活動による地域の絆の再生や、市民活動の推進による地域活性化の必要性が増している中、コロナ禍により、活動の手法や在り方について再考が求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度～2年度の施策の成果	中沢、栗野自治会集会所の修繕事業、三井鎌ヶ谷自治会集会所の解体新築事業及び、道野辺あおば、富岡自治会の借家事業に対する補助金交付、栗野、南初富、鎌ヶ谷コミュニティセンターの空調機改修工事及びびくぬぎ山コミュニティセンター空調吸気式冷温水機修繕を行ったほか、市民活動応援補助金を8事業に交付した。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値(2年度)
	i	自治会加入世帯数	世帯	28,712	28,580	28,313	29,800
	ii	市民活動推進センター登録団体数	団体	92	86	91	105
	iii	過去1年間に地域活動をした市民割合(市民意識調査)	%	53.5	—	—	68.0
③基本事業成果指標	i	自治会加入世帯数	世帯	28,712	28,580	28,313	29,800
	ii	「市政に参加したい」と思う市民割合(市民意識調査)	%	21.1	—	—	31.7
	iii	コミュニティセンター利用者数(年間)	人	99,627	93,316	48,166	105,000
	iv	市内NPO法人数	組織	30	24	26	32
	v	市民活動推進センター登録団体数	団体	92	86	91	105
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	令和元年度決算	令和2年度決算	市民一人あたり事業費(2年度決算)	令和3年度予算			
事業費(千円)	85,927	131,488	(単位:円)	1,202	円		140,180

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	地域コミュニティ活動や市民活動の必要性を再認識する中で、コロナ禍でも実施可能な活動手法を研究し、アフターコロナに向けてリスタートする工程を検討する必要性が生じている。		
②総合評価	4未達成	③総合評価の理由	自治会加入世帯数や市民活動推進センター登録団体数等、目標値を達成することができなかったことから左記評価とした。

V 今後の方向性

①施策の方向性	↑ 拡充
②上記方向性の説明	市有建築物長寿命化計画に基づき、コミュニティセンター等の改修を計画的に実施する。
③特に重点化する事務事業	コミュニティセンター等改修事業